

(株)スターランド

「スーパースター」導入店レポート

カラオケ ハニービー山北店 [岡山県津山市]

スーパースターシリーズ全店導入
オーダー端末も全室設置、飲食強化元ファミリーレストラン物件に
7月7日新店をオープン

岡山県と広島県で「カラオケ ハニービー」の名でカラオケボックスを展開する(有)マーク(本社・岡山県岡山市)は7月7日、同社9店舗目となる「カラオケ ハニービー山北店」(24ルーム)を岡山県津山市にオープンした。周辺に中学校・高校がある市中心部の住宅街に立地し、元ファミリーレストランであった建物への出店となった。

同社では(株)スターランドの「スーパースターシリーズ」のフロントPOSシステムと飲食オーダー端末を全店に導入している。店舗開発を担当する開発部係長の川本淳一氏は、「スーパースターシリーズ」の導入経緯について、次のように語る。

「3年くらい前ですが、ある展示会の会場でスターランドさんを紹介されました。その当時は他社のPOSシステムを使用していたのですが、使いやすさやメンテナンスサービスなどについて店舗スタッフにヒアリングを行ないました。スターランドさんの業界での実績、使いやすさ、アフターサービスなど総合的に判断した結果、スーパースターシリーズを全店に導入することにしました」。

飲食メニューの充実図り
部門売上げが50%占める

「カラオケ ハニービー」の特徴は、飲食部門の売上げが約5割を占め、フード・ドリンクに力を入れていることである。業者が提供するグランドメニューに加え、特に力を入れているのがオリジナルメニューの定番人気メニュー、居酒屋メニューだ。たとえばうどん類だけでも、カレーうどん、牛肉うどん、サラダうどんなど5種類以上を用意。揚げ物などのつまみ類から肉料理など豊



ウッド調のデザインを採用し、3画面モニター、音にもこだわった音響ルーム



全室に飲食オーダー端末を設置。オリジナルメニューに注力している

富に揃えることで、ドリンク類のオーダーを促す狙いもある。

飲食については電話によるオーダーも受け付けているが、ほとんどの客がオーダー端末での注文だ。コロナ禍により一般飲食店でもオーダー端末の普及が進み、客も操作に慣れてきていることも影響しているようだ。

オーダー端末の導入メリットは、混雑時でもスムーズなオーダーが可能、スタッフの負担が大幅に軽減できる、メニュー表示の切替えが容易、業務の効率化など数多いが、同社のように飲食に力を入れる店舗にとっては必須アイテムとなっている。

飲食部門を強化している同社では山北店のオープンに合わせ、フロントにデジタルサイネージを設置し、フードを写真で紹介している。フロントの正面頭上にあるため、画面に自然と目がとまり、訴求力は高

「スーパースター」シリーズとは

POSシステム「スーパースター」シリーズは、(株)スターランドが開発・販売。カラオケボックスのほか、複合カフェ、温浴施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。



7月7日オープンした「カラオケ ハニービー山北店」



フロントにはデジタルサイネージを4台設置。そのうちの1台でお勧めのフードが順々に表示される



「スーパースターシリーズ」のフロントPOSシステム

い。コロナ禍にあっては、客単価をいかに上げられるかが営業面での大きな課題となるが、フロントのサイネージを活用した飲食販促は注目される。

同社は2019年12月に広島県1号店となる「カラオケ ハニービー多治米店」を福山市にオープンしている。山北店はコロナ禍での出店となったが、不動産会社や金融機関からの紹介物件も多く寄せられており、新規出店については岡山県、広島県にとどまらず、他エリアへも積極的に推進していく計画だ。

問合せ先 (株)スターランド

[本社] 静岡県藤枝市青木3-14-1

☎ 0120-007-009

FAX 054-644-5034

URL <http://www.starland.co.jp>

✉ starland@starland.co.jp